▲黒部川イルミネーションをくぐる遊覧船の光跡と

▲ナイヤガラの仕掛け花火は圧巻

▲満月と花火の共演

水郷おみがわ花火大会

夜空に咲いた光の花

水郷おみがわ花火大会が8月1日に小見川大橋下流の利根川河畔で開催されました。この花火大会は、関東屈指の規模を誇り、明治時代から今年で119回目を数えます。全国の花火作り名人が競う全国尺玉コンクールのほか、フィナーレの「見ませ見せましょ小見川花火　豪華絢爛！　日本一!!」では、8号玉3連発や特大水中スターマイン、フィナーレスターマインが放たれ、夜空や川面を鮮やかに彩りました。

また、黒部川イルミネーションは、従来の六角形のぼんぼりから丸いちょうちん型に変わり、灯りが灯されると幻想的な雰囲気に包まれました。

また、今年は、はんなり市も黒部運動公園で開催され、そちらもにぎわいをみせていました。

まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介

田んぼの楽校　かかし作り

お米を見守ってね

▲かかしの完成に思わず笑みが

小学生が田植えから稲刈りまでの米作りを体験する小見川少年自然の家主催の「田んぼの楽校」。小見川西小付近の楽校の田んぼで7月25日、かかし作りが行われました。グループに分かれた子どもたちはボランティアの高校生と協力し、わらでかかしを作成。中には、かかしの頭に花かんむりをつけるなど、ユニークなかかしも。作ったかかしはグループ皆で担いで運び、田んぼの端に立たせました。穂が出てきた稲の変化に次回の稲刈りが楽しみな様子でした。

サマーコンサート

聴かせて 見せて 心を一つに

「客席の皆さん、ご起立ください」。演奏会の終盤、吹奏楽を伴奏に出演者と観客とが一緒に「少年時代」を合唱する一幕もあったサマーコンサート。7月19日に開かれた山田公民館恒例のコンサートは、今年も山田中学校吹奏楽部と小見川吹奏楽団約70人が舞台に立ち、唱歌からポップスまで幅広い楽曲を聞かせました。間にダンスあり合同演奏ありと変化に富んだプログラムに、「工夫が随所にあって、見ていても楽しい」と常連さんも大満足。暑い日曜日の昼下がり、爽やかな気分になるひとときでした。

▲合唱で舞台と客席が一体化

みて見て うちの子
Lovely Kids of Katori

お外遊びとトーマス、パパママ大好き！

加藤 涼雅くん
1歳10カ月（野田）
パパ 俊輔さん ママ 真弓さん

元気いっぱい食欲旺盛、歌と踊りが大好き。

香取 颯杜くん
1歳9カ月（小見川）
パパ 秀謙さん ママ 綾子さん

ねぇねのまねっこがマイブーム☆

山田 千紘ちゃん
1歳9カ月（田部）
パパ 力寿さん ママ 晴美さん

お祭り大好き♡踊りも上手！！

佐々木 智也くん
1歳9カ月（佐原イ）
パパ 亮さん ママ 幸枝さん

お散歩大好き！お花を探すのが楽しいよ♡

篠塚 ひなたちゃん
1歳10カ月（佐原イ）
パパ 文秀さん ママ 里江さん

やんちゃでお茶目なぼくは、外&水遊びが大好き☆

川端 志弥くん
1歳9カ月（岩ケ崎台）
パパ 英治さん ママ 敦子さん

鹿島市の児童が香取市に来訪

ゆかりの地で思いを巡らせ

7月11・12日の2日間、「ふるさとの自然、歴史、文化を活かしたまちづくり連携に関する協定」を締結している佐賀県鹿島市の児童7人が香取市を訪れました。

▲円通寺にある鹿島鍋島藩主のお墓参り

香取市にはかつて鹿島鍋島藩の領地があり、円通寺（上小川）には初代から4代藩主の墓所が残っています。子どもたちは交流のルーツである鹿島鍋島藩主のお墓参りに円通寺を訪れ、地元の歓迎を受けました。

▲伊能忠敬記念館で熱心にメモを取る子どもたち

また、伊能忠敬は約200年前に測量で鹿島市を訪れています。伊能忠敬記念館の見学では、説明の後もそれぞれの子どもが興味を持ったことをさらに詳しく調べたり、地図パズルをしたりしていました。

「佐原の大祭夏祭り」では、山車の曳き廻しの体験やウォークラリーなどを通じ、市内の子どもたちと交流を図りました。

宝くじ まちの音楽会　心のうたコンサート

変わらぬ美声、香取に響く

7月26日、宝くじまちの音楽会として、フォークシンガーの南こうせつさんと、中国の伝統楽器で琴の原型の古箏（こそう）奏者のウー・ファンさんによるコンサートが佐原文化会館で行われました。

▲佐原・香取・小見川中学校合唱部が参加

初めて香取市を訪れたという2人は、開演前に佐原の町並みを散策したそうで「柳の並木や古い蔵がすてき」と、風情ある町並みを気に入った様子でした。コンサートでは、市内中学生52人とのコラボレーションも。曲に合わせた振り付けを披露し、会場は拍手と笑顔で溢（あふ）れました。

つる仙人の見習い工房

すてきな籠（かご）に飾る楽しみ

栗源市民センター「さつき館」にて、籐（とう）のつるを使った籠作りが行われました。7月22日は初回（全4回）で、先生のお手本をまねて作業開始。参加者は、「つるを編む前の、籠の形に立ち上げるのが難しくて」と苦戦している様子でしたが、先生がポイントを説明しながら手を差し伸べると熱心に聞き入っていました。完成してみれば、皆少しずつ違って、天然素材ならではのぬくもりと味のある一品に仕上がりました。

▲つるの取っ手をビスで装着

▶寄せ植えの鉢を入れるとおしゃれなインテリアに

ウォーターフェスタin小見川

水上からの景色を満喫

7月26日、小見川水上スキークラブによるウォーターフェスタが、黒部川特設会場（少年自然の家前）にて催されました。今年で15回目を迎えたイベント当日は猛暑。「このボートに乗りたい人！」とボートを運転するスタッフが声をかけると、招かれた障害者の皆さんは玉の汗を噴きながらも元気よく挙手し、まぶしいほど輝く水上を、風を切って走る爽快感に歓声を上げました。障害の程度に合わせたスタッフの気づかいで、参加者はボートの乗り降りもスムーズに、安心してマリンスポーツを楽しめました。

▲次はジェットスキーにも挑戦してみようか